事業所名 グループホームいさはや

作成日: 平成 26 年 3 月 26 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む 具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	36	トイレに準備しているパッド類に個別氏名が書いてあるので、プライバシーの配慮に欠けている。居室のポータブルトイレも目につかないような管理方法が必要である。	誇りやプライバシーを損ねないよう、パッド類 やポータブルトイレが他人に見られないよう な管理方法を検討する。	トイレに準備しているパッド類を、他人の目に 付かない場所に保管し、個別氏名を目立たな い大きさで記入する。居室のポータブルトイレ には、カバーを掛ける。	1ヶ月
2	26	日々の支援と計画の支援内容との関係が分かるようチェック表を取り入れているが、チェック 方法が統一されていない。	現状に即した介護計画作成する為、日々の 支援のチェック表を有効活用出来る様、職員 間での管理を統一する。	計画通りに出来た場合(〇)、出来なかった場合 (×)、必要がない場合(/)と、職員間で記入方 法を統一する。遅番の職員が、その日の最終 的なチェックを行う。	1ヶ月
3	35	年2回、消防署指導の下避難訓練を実施しているが、自主訓練を実施するまでには至っていないので、自主訓練の定期的な実施方法を検討する。マニュアルは整備しているが、職員全員に周知が出来ていない。	昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につける為、自主訓練を実施する。 マニュアルを全職員が周知するように徹底する。	全職員が参加しやすい自主訓練の方法を会議で決め、定期的に実施する。マニュアルついては、新任時に説明し、現職員にも最度説明し、 周知を徹底する。	
4	33	重度化と看取りについて現在、事業所として出来る支援の範囲を明文化していない為、職員と 共有出来ていない。	本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを説明しながら方針を共有し、関係者と共にチームで支援に取り組む。事業所として出来る支援を職員とも検討していく。	医療行為を伴う支援になった場合等、事業所として出来る対応が、家族の意思等で随時変化してくるので、事業所の基本的な指針については明文化し、職員と共有する。	2ヶ月
5					ヶ月